

# 2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(23)番

福山市立城西中学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	コミュニケーション力	表現力	忍耐力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	生徒は「伝え合う」場で自ら活動している。	生徒は「考えを書く」「話し合う」場で自ら活動している。	・生徒は、課題解決へ向けての学習活動を意欲的に行っている。 ・生徒は学校・地域・社会のボランティア活動に進んで参加している。

## 2 授業の現状

- ・基礎的な学習の定着が不十分な領域があり、定着へ向けた学習を必要とする。
- ・自ら学ぶ、探求的な学習内容や課題解決型の学習を必要とする。
- ・家庭学習の定着・学習意欲について、個の課題に応じた学習支援を必要とする。

転換

## 3 めざす授業の姿

- ・共通の課題が設定され、生徒は解決へ向けての学習活動を意欲的に行っている。
- ・「考えを書く」「伝え合う」「話し合う」場が設定され、生徒は自ら活動している。
- ・個の課題に合わせた支援が適切に行われ、生徒はわかる喜びを味わっている。

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<p>○「主体的な学び」への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲、知的好奇心を喚起させる課題設定の工夫と単元指導案作成</li> <li>・調べ学習等、情報収集・処理・発信活動の取り入れ</li> <li>・個の実態に応じた学び方の指導</li> <li>・委員会・学習係会による自治的な取組の場の設定</li> </ul> <p>○育成する力への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動としての生徒作品の掲示</li> <li>・「述べる」「伝える」「説明する」場の効果的な取り入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査では、国語・数学で基礎的・基本的な知識や技能の定着に課題ある。また、説明する問題での無答率が高く、授業で思考や表現させる際に、目的やそのやり方を教える必要がある。</li> <li>・課題解決型の授業づくりについて、教科会で話す場を設定できた。</li> <li>・言語活動や単元末のまとめとしての生徒作品の掲示は、できた教科とできなかった教科で差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科において、表現する場を充実させる。その際、単元末のレポートの作成や、導入での課題設定をさせるなど、やり方は教材や教科の特性などで考慮する。</li> <li>・教える場、考えさせる場、表現させる場を明確にした授業づくりを行う。</li> <li>・主体的な学びへの取組として、委員会や学習係会を活性化させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科によっては、基礎的な知識や技能の定着に課題がある。定着が見られる教科では、これまでに学習した内容と、新たな学習内容を結びつけて考えさせたり、考えてみたいと思わせたりするなど課題設定に工夫が見られる。</li> <li>・レポート作成、グループ活動の意図的設定、自己評価カードの利用などにより、「主体的な学び」の授業づくりに向けて、意識は高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科で設定した重点取組に基づき、コミュニケーション力・表現力・忍耐力をつける課題設定・解決型の授業を充実させる。</li> <li>・総合的な学習の時間において、生徒自身が課題設定できるような題材や発問、調べ学習等を取り入れられる。</li> <li>・1年間の学びを示す生徒作品の掲示を行う。また、授業実践事例集を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会で年間のまとめを行った。教科会で出された年間の成果や課題をもとに、来年度の授業改善の方向性を検討する。</li> <li>・総合的な学習の時間は、全学年が課題設定解決型の授業へ転換してきた。生徒がより主体的に取り組めるよう内容見直しを進める。</li> <li>・実践事例集は作成中である。作成後、年度末の校内研修で発表の場を持ち、今後の授業改善へ役立てる。</li> </ul>

## 5 取組の結果等

数値は2019年(R元年)調査等の状況(広島県体力・運動能力調査は昨年度)

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
国語	73 (-1)	自分にはよいところがある 41.3
数学	55 (-5)	先生はよいところを認めてくれる 39.1
英語	56 (0)	将来の夢や目標を持っている 58.7
		人の役に立つ人間になりたい 71.7

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査) (%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	77.7
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	70.9
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	69.6
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	79.7

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(2)月末現在
暴力行為	1
不登校	4.5%

## 体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 3/24	【前回目標値】 県平均以上の項目を男女共に50%以上にする	敏捷性やスピード、全身持久力で特に県平均を大きく下回っている。	授業のウォームアップで全学年アジリティトレーニングに取り組む。
(女子) 5/24	【結果】 男子:12% 女子:20%		
目標値	県平均以上の項目を男女共に50%以上にする。		

## 福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	91.7	8.3
仕事に充実感がある	83.3	16.7

## 児童生徒アンケート(%)

(1)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	84	16
自分の考えは、認められている	81	19